

株主の皆様へ



第104期報告書

平成29年2月1日～平成30年1月31日



スバル興業株式会社

証券コード：9632

株主の皆様へ



取締役社長

永田 泉治

新体制のもと、株主価値向上のため事業活動に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。
当社グループは創業以来、「社会に奉仕すること」を企業理念として、社会の発展に一層貢献することを基本的な考え方として事業を進めております。

さて、当社グループ第104期（平成29年2月1日から平成30年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概況等をご報告申し上げます。

なお、第105期より「配当政策」を一部修正し、1株あたり年間100円の配当をベースにし、業績が予想や目標をさらに上回って推移した場合には、業績連動分として追加配当も検討する方針といたしました。

また、平成30年4月26日開催の第104回定時株主総会終了後の取締役会において、役員の新体制が決定いたしました。株主価値向上に努め新たな体制のもと、全力を挙げて社業に努める所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成30年4月

財務ハイライト (連結)

経営成績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、3か年計画《中期経営戦略2016-2019 TRY! 2019》の2年目にあたり、その計画の目標に努めたところ、当初の目標を大幅に上回ることができ、売上高23,339百万円（前期比15.2%増）、営業利益3,151百万円（前期比

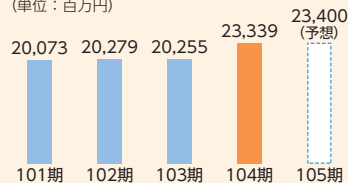
45.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,094百万円（前期比43.2%増）となりました。

次期の見通し

当社グループの次期の見通しにつきましては、売上高23,400百万円、営業利益2,570百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,660百万円を見込んでおります。

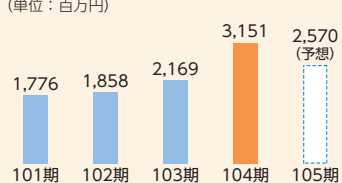
売上高 23,339百万円
(前期比 15.2%増)

(単位：百万円)



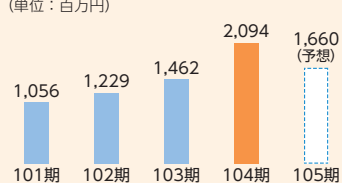
営業利益 3,151百万円
(前期比 45.3%増)

(単位：百万円)

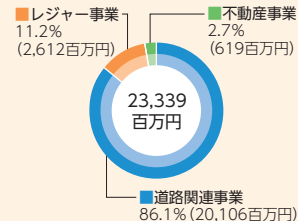


親会社株主に帰属する当期純利益 2,094百万円
(前期比 43.2%増)

(単位：百万円)



セグメント別売上高構成



営業の概況

道路関連事業

売上高 20,106百万円
セグメント利益 3,211百万円

主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路環境関連製品の販売
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 道路・河川 保全作業
- 有料道路等の売店経営
- 太陽光発電事業

道路関連事業は、公共投資が引き続き高水準を維持しており、当社グループの主力事業である道路、橋梁等の維持・補修分野において、老朽化対策、防災・減災対策等を中心とする補修工事および道路維持作業が堅調に推移いたしました。しかしながら、建設技能者の慢性的な不足や、労務費および資機材価格の上昇、企業間における受注競争の激化等により、依然として予断を許さない事業環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、積算精度の強化を図り、積極的な営業活動により受注拡大に努めるとともに、物件ごとに応じた適切な技術提案により既存工事の増工や追加受注を積み重ねました。また、関係各社との連携を密にして自然災害等の緊急時に備えた施工体制を強化し、コスト意識を高め、業務の効率化による収益性の向上に努めましたところ、前期比で増収増益となりました。



橋梁補修工事



トンネル補修工事

レジャー事業

売上高 2,612百万円
セグメント利益 189百万円

主な事業

■ 映画興行 ■ 飲食店経営 ■ 飲食物品等販売 ■ マリーナの運営

『有楽町スバル座』における映画興行は、期中邦画15作品、洋画5作品の計20作品を上映し、「花筐-HANAGATAMI-」をはじめ「八重子のハミング」「彼女がその名を知らない鳥たち」等が好評を博し、売上高は前期を上回りました。

飲食事業は、人件費の上昇や原材料価格の高騰等が影響し、依然として厳しい事業環境が続きました。このような状況のなか、飲食店舗においては、食の安全と快適な店づくりに努め、物品販売においては、炭酸飲料水等の販売が好調に推移しましたが、期中に飲食店舗を1店舗閉店したこともあり、飲食事業の売上高は前期並みとなりました。

マリーナ事業は、ヨットレース「スバルザカップ」や「マリンフェスティバル」等のイベントに加え、クルージングイベント等の新たな企画を実施したところ、契約船舶数は引き続き高水準で推移いたしました。また、施設内の船舶給油所、「イーノの森」ドッグラン等も好調に稼働したこともあり、売上高は前期を上回りました。

以上により、レジャー事業全体では前期比で増収増益となりました。

不動産事業

売上高 619百万円
セグメント利益 362百万円

主な事業

■ 賃貸ビル ■ 賃貸倉庫 ■ 賃貸駐車場 ■ 土地の賃貸

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』をはじめとした各賃貸物件は堅調に稼働し、前期比で増収となりましたが、一部物件において給排水設備等の計画的な修繕工事に伴う除却損を計上したこともあり、減益となりました。

当社直営映画館および飲食店のご案内 (平成30年4月26日現在)

■ 映 画 館

有楽町スバル座

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル2F

■ 和 食 店

そば処 竹むら

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルB1

■ イタリア料理店

ラ・ベルデ有楽町店

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルB1

ラ・ベルデ日比谷店

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビルB1

ラ・ベルデ大手町店

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエアB1

■ 南イタリア・シチリア料理店

エトナマーレ

神奈川県横浜市神奈川区金港町1-10

横浜ベイフォーター4階

■ 喫 茶 店

ドトールコーヒESHOP神田駿河台店

東京都千代田区神田駿河台1-6-5

NTT駿河台ビル1F

ドトールコーヒESHOP大山サンロード店

東京都板橋区大山東町52-2

ドトールコーヒESHOPイーサイト上尾店

埼玉県上尾市柏座1-1-18 JR上尾駅イーサイト上尾

ドトールコーヒESHOP新青山ビル店

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビルB1

ドトールコーヒESHOP

大手町フィナンシャルシティ店

東京都千代田区大手町1-9-7

大手町フィナンシャルシティ サウスタワーB1

ドトールコーヒESHOP大宮駅前店

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1

ベルヴェオフィス大宮1F

■ ダイニングレストラン

MARINA & GRIL

東京都江東区夢の島3-2-1 東京夢の島マリーナ内

《新規レストラン開店のご案内》

南イタリア・シチリア料理



『エトナマーレ』



横浜駅直結 潮風を感じながらショッピングや
グルメが楽しめるショッピングモール
「横浜ベイフォーター」4階にオープンしました！



地中海の海と太陽に恵まれた
南イタリア・シチリア島の郷土料理と
ワインをお楽しみください！

会社の概況

会社概要（平成30年1月31日現在）

設 立	昭和21年2月9日
資 本 金	1,331百万円
主要な事業所	46か所
従 業 員 数	203名(連結543名)
U R L	http://www.subaru-kougyou.jp
本 社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関 西 支 社	〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号 TEL 06-6313-4501 (代表)
主な事業内容	道路および道路附帯設備の維持・清掃、補修工事の請負、 有料道路等の売店運営業務の受託、 橋梁・構造物等の設計業務、太陽光発電事業、映画興行、 飲食・物販等の事業、マリナーの運営事業、不動産賃貸業

取締役（平成30年4月26日現在）

代表取締役会長	小 林 憲 治
代表取締役社長	永 田 泉 治
専務取締役	松 丸 光 成
常務取締役	佐 波 宏 夫
常務取締役	堀 内 信 之
取締役	今 沢 宏 之
取締役	岡 部 一 朗
取締役	竹 島 美 喜
取締役	太 古 伸 幸
取締役	石 塚 泰
取締役	社外 独立 宮 家 邦 彦
取締役（常勤監査等委員）	社外 独立 遠 藤 信 英
取締役（常勤監査等委員）	鈴木 誠 之
取締役（監査等委員）	社外 独立 野 元 三 夏

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

科 目	前 期	当 期
(資産の部)		
流動資産	12,163	14,349
固定資産	10,372	11,405
有形固定資産	8,737	8,761
無形固定資産	26	734
投資その他の資産	1,607	1,908
資産合計	22,535	25,754

POINT
1

（単位：百万円）

科 目	前 期	当 期
(負債の部)		
流動負債	2,491	3,577
固定負債	729	1,080
負債合計	3,221	4,657
(純資産の部)		
株主資本	18,856	20,606
その他の包括利益累計額	10	13
非支配株主持分	447	478
純資産合計	19,314	21,097
負債純資産合計	22,535	25,754

POINT
1

POINT
1

POINT
1

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、のれん、保険積立金の増加等により前連結会計年度末に比べ3,219百万円増加となりました。負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加により前連結会計年度末に比べ1,435百万円増加となり、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,783百万円増加となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
売上高	20,255	23,339
営業費用	16,797	18,640
売上総利益	3,457	4,699
一般管理費	1,288	1,547
営業利益	2,169	3,151
営業外収益	44	53
営業外費用	12	18
経常利益	2,201	3,187
特別利益	8	5
特別損失	17	—
税金等調整前当期純利益	2,192	3,192
法人税、住民税及び事業税	713	1,075
法人税等調整額	△4	△10
当期純利益	1,483	2,127
非支配株主に帰属する当期純利益	20	33
親会社株主に帰属する当期純利益	1,462	2,094

POINT
2

POINT
2

POINT
2

POINT
2

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,692	2,879
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,089	△1,266
財務活動による キャッシュ・フロー	△423	△349
現金及び現金同等物の増減額	180	1,263
現金及び現金同等物の期首残高	5,435	5,615
現金及び現金同等物の期末残高	5,615	6,878

POINT
2

当連結会計年度の売上高は、道路関連事業20,106百万円、レジャー事業2,612百万円、不動産事業619百万円の合計23,339百万円（前期比15.2%増）となり、営業利益は3,151百万円（前期比45.3%増）、経常利益は3,187百万円（前期比44.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,094百万円（前期比43.2%増）となりました。

株式の状況 (平成30年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：4,000,000株

発行済株式の総数：2,662,000株

株主数：4,188名(前期末比555名減)

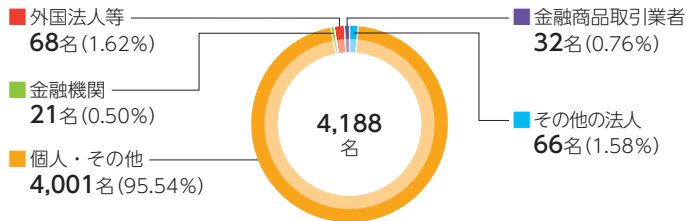
大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	1,360	52.91
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	84	3.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	52	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	32	1.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32	1.25
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	28	1.08
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	25	1.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	25	0.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	22	0.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	20	0.79

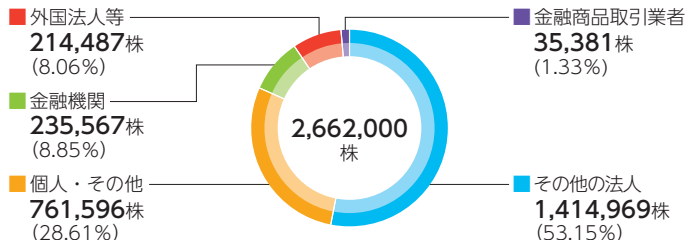
(注) 1. 当社は、自己株式90,457株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

株式分布状況

株主数



株式数

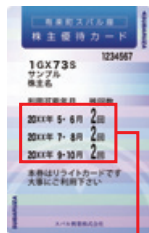


株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.subaru-kougyou.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

株主ご優待

株主優待カードのご利用により、
有楽町スバル座上映作品がご鑑賞になれます。



ご利用の都度、書き換わります。

ご所有株式数	ご招待回数
100株以上 (2ヵ月ごとに2回)	6ヵ月 6回
200株以上 (2ヵ月ごとに4回)	6ヵ月12回
300株以上 (2ヵ月ごとに6回)	6ヵ月18回

株主優待カード（書換え式）

ご利用の際は、株主優待カードをチケット
売場へご提示願います。

ご利用方法などの詳細につきましては、「株主優待のご案内」の冊子または、当社ホームページにてご案内しております。

※株主優待カードは表A・Bに該当する株主様のみ新たに発行いたします。

表C・D・Eに該当する株主様は、現在お持ちの株主優待カードを継続利用となります。

前基準日(平成29年7月) 当基準日(平成30年1月)

株主	前基準日(平成29年7月)	当基準日(平成30年1月)	権利内容
A	売却	買付	新規カード発行
B	買付	買付	新規カード発行
C	売却	買付	既存カード継続利用
D	売却	買付	既存カード継続利用
E	売却	買付	既存カード継続利用
F	売却	売却	株主優待権利消失
G	売却	買付	株主優待権利なし

基準日：1月31日(期末)および7月31日(中間)の2回です。
●—●—●→ は当社株式の保有期間を表しております。

紛失や廃棄等で再発行される方は、再発行手数料2,000円
をご負担いただきますので、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにて
ご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **9632**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjmi.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝
(図書カード500円)を進呈させていただきます

ホームページをリニューアルいたしました！

スバル興業

検索



スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
TEL 03-3213-2861(代表)
<http://www.subaru-kougyou.jp>

お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶三菱UFJ信託銀行株式会社TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶三菱UFJ信託銀行株式会社TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれます銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

